

# 入門ミクロ経済学 II

科目ナンバリング ECT-102  
選択 2単位

落合 宏

## 1. 授業の概要(ねらい)

経済活動は消費者や企業等の経済主体間で織りなされる戦略的相互関係に基づいて営まれているという側面を持ちます。例えば、ある企業は競合他社の出方を見ながら自社の製品開発や価格設定を行っているでしょう。また、会社の従業員なら、ビジネス交渉は頻繁に行われますし、日々の生活でも、ネットオークションや自動車・マイホームのような高額商品を購入する際には、他者や相手方がどう出るかを考えながら購入の意思決定をするでしょう。このような戦略的相互関係を経済学的に分析するツールがゲーム理論です。本講義では、政治学科の学生向けに、ゲーム理論の基礎を紹介するとともに、それを選挙や政治家の行動等、政治学で扱われる題材に応用します。

政治の経済学的分析を通じて、私たちを取り巻く政治・経済の構造について理論的かつ体系的に考え直すことは、現代の民主主義社会を深く理解する上でも、またみなさんが将来就職してよい社会人生活を送る上でも大きな知的財産をもたらしてくれるでしょう。

## 2. 授業の到達目標

- ① 政治学で扱われる題材をゲーム理論を使用して十分に理解し、説明することができます。(知識・理解)
- ② メディア等で触れられる経済問題を深く分析して、適正に判断することができます。(汎用的技能)
- ③ 選挙や政治家の行動を経済学的に分析し、投票等において自身の適切な行動に役立てることができます。(態度・志向性)

## 3. 成績評価の方法および基準

- ・期中レポート課題(到達目標①、②、③):50%
- ・期末レポート課題(到達目標①、②、③):50%

## 4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しません。

参考文献

浅古泰史 『ゲーム理論で考える政治学 フォーマルモデル入門』 有斐閣 2018年

坂井豊貴 『「決め方」の経済学』 ダイヤモンド社 2016年

## 5. 準備学修の内容

予習は各回の授業内容を参考に参考文献で該当箇所を読み、予め疑問点を整理しておくことが望ましいです。復習は授業中に出题された例題等を通して理解が浅いと判断した部分を重点的に学習すると効率的です。

## 6. その他履修上の注意事項

- ・経済学は数学や図を使用することが多いです。計算問題を解く際はもちろんのこと、授業で使用する資料や参考文献を読む際にも実際に自分で紙に計算を書き、図を描き、論旨を確かめながら読み進めてください。
- ・現実経済に対する深い問題意識があつて初めて経済理論の学習が意味を持ってきます。したがって、日ごろから新聞を読むなどして時事問題には関心向けておいてください。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 講義ガイダンス
- 【第2回】 低投票率
- 【第3回】 選挙競争
- 【第4回】 汚職
- 【第5回】 連立政権
- 【第6回】 政治家の資質
- 【第7回】 動画視聴
- 【第8回】 選挙運動
- 【第9回】 メディア
- 【第10回】 脱官僚
- 【第11回】 政治体制
- 【第12回】 民主化
- 【第13回】 戦争
- 【第14回】 平和
- 【第15回】 (オンライン)政治のゲーム理論分析